

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年8月分【埋立中共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年8月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

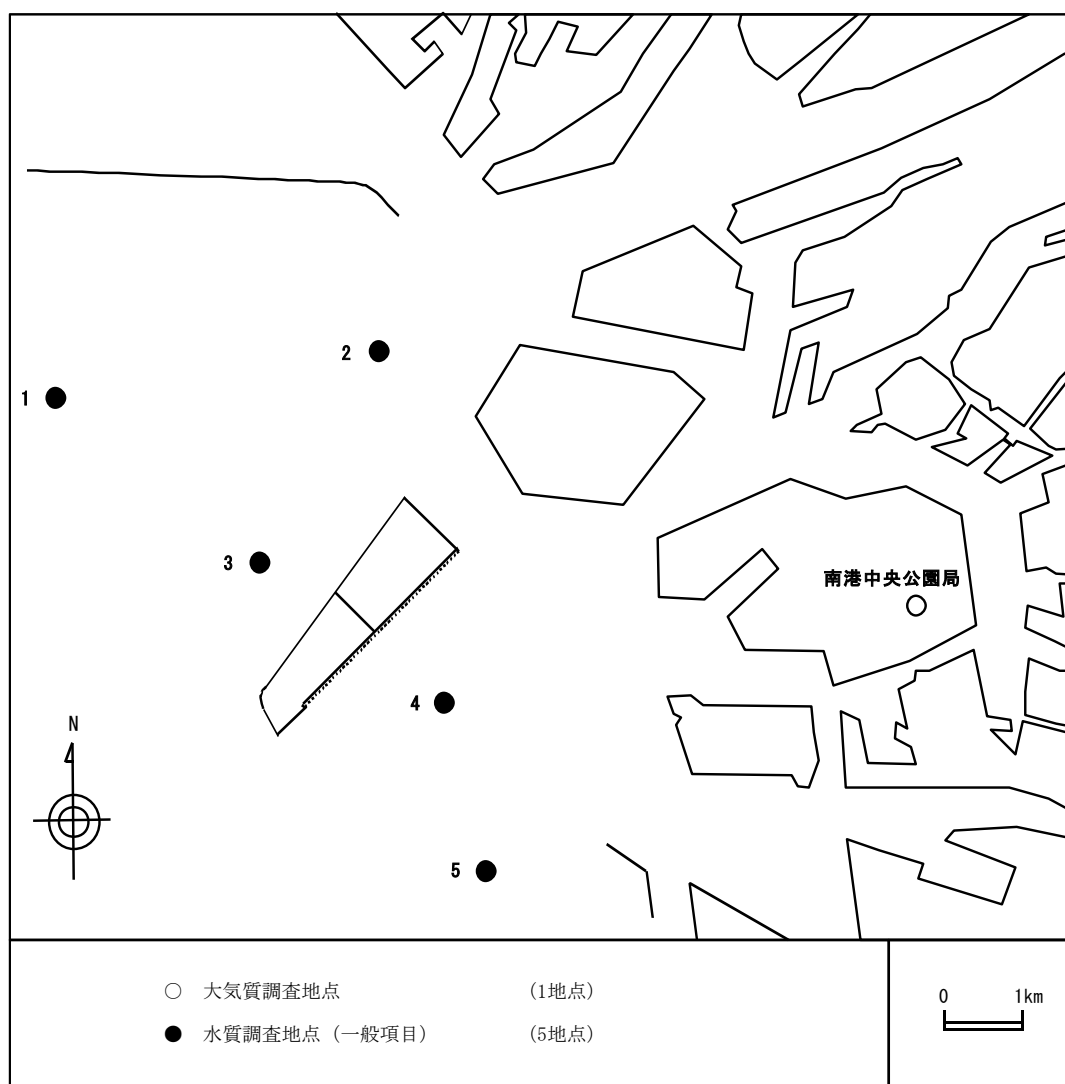
表－1（1）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月22日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

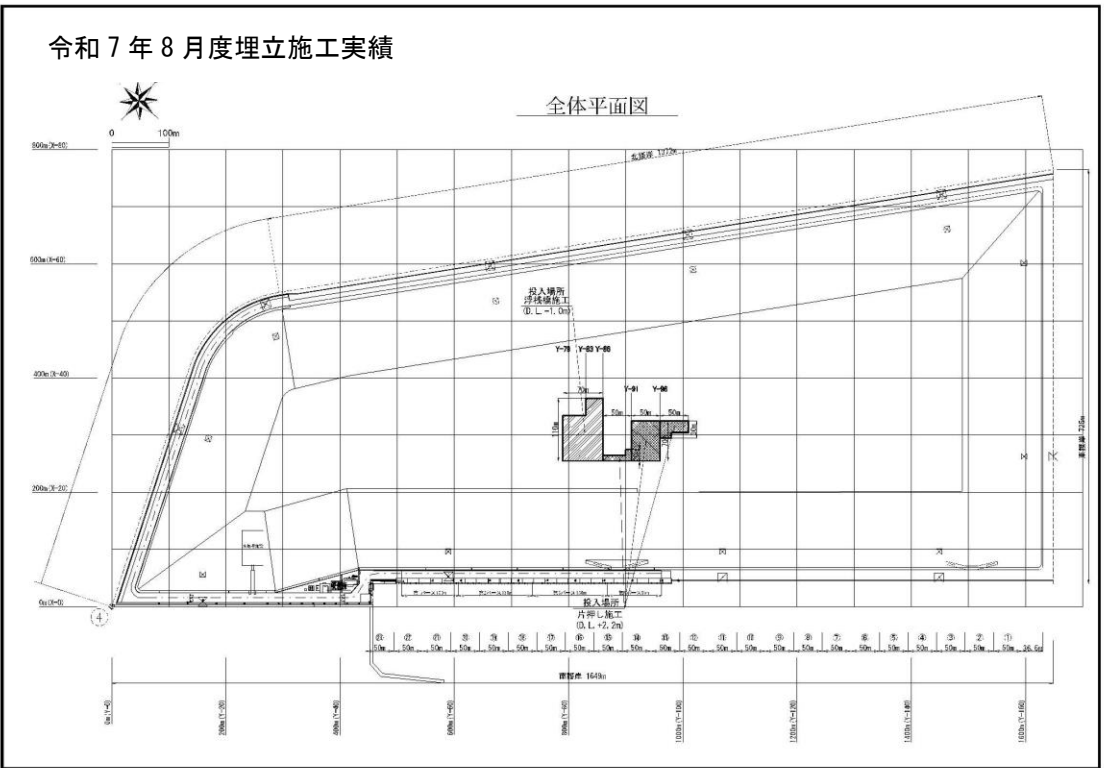
調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月22日	1回／年



図－1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和7年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
8,320,825.7	59.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1 時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1 時間値の最高値は 0.018ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.010ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³ 以下、1 時間値 0.20 mg/m³ 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.023mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.037mg/m³、1 時間値の最高値は 0.079mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.3～8.6、下層で 8.0～8.1 の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1,2,4 (8.6) 及び調査地点 5 (8.5) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.7～4.8mg/L、下層で 1.7～2.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1,4 (4.5 mg/L)、調査地点 2 (4.8 mg/L)、調査地点 3 (3.7 mg/L) 及び調査地点 5 (4.1 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.6～10mg/L、下層で 4.3～5.9mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では過半数の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1,5 (4.5mg/L) 及び調査地点 4 (4.3mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6～11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.41～1.1mg/L、下層で 0.13～0.46mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 2,4 (1.1mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.057～0.13mg/L、下層で 0.028～0.065mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1 (0.092mg/L)、調査地点 2 (0.13mg/L)、調査地点 3 (0.057mg/L)、調査地点 4 (0.096mg/L) 及び調査地点 5 (0.083mg/L)、下層の調査地点 4 (0.065mg/L) 及び調査地点 5 (0.056mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021～0.15mg/L、下層で 0.020～0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1～2 度(カリ)、下層で 2～4 度(カリ)であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3～4mg/L、下層で 1～4mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 4.6～13μg/L、下層で 0.3～1.7μg/L の範囲であった。

【参考】ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、全亜鉛

ノニルフェノールはいずれも報告下限値未満 (<0.00006mg/L)、LAS はいずれも報告下限値未満 (<0.0006mg/L)、全亜鉛は 0.002～0.005mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注）1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目		事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	－
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表〔令和7年8月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果 [令和7年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (金)	0.004	0.005
	2 (土)	0.003	0.004
	3 (日)	0.004	0.005
	4 (月)	0.005	0.007
	5 (火)	0.004	0.006
	6 (水)	0.005	0.007
	7 (木)	0.004	0.005
	8 (金)	0.004	0.007
	9 (土)	0.004	0.004
	10 (日)	0.003	0.006
別	11 (月)	0.003	0.004
	12 (火)	0.003	0.004
	13 (水)	0.004	0.005
	14 (木)	0.004	0.006
	15 (金)	0.004	0.005
	16 (土)	0.004	0.005
	17 (日)	0.003	0.005
	18 (月)	0.005	0.006
	19 (火)	0.003	0.005
	20 (水)	0.004	0.007
値	21 (木)	0.004	0.005
	22 (金)	0.004	0.004
	23 (土)	0.004	0.005
	24 (日)	0.004	0.006
	25 (月)	0.004	0.006
	26 (火)	0.005	0.010
	27 (水)	0.006	0.010
	28 (木)	0.004	0.005
	29 (金)	0.005	0.006
	30 (土)	0.005	0.018
	31 (日)	0.005	0.006
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		741	
月 平 均 値 (ppm)		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.006	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.018	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号 (埋立地関連)

一酸化窒素測定結果 [令和7年8月分]

[illegible]

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [令和7年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別	1 (金)	0.012	0.021
	2 (土)	0.009	0.013
	3 (日)	0.008	0.014
	4 (月)	0.010	0.021
	5 (火)	0.009	0.020
	6 (水)	0.011	0.017
	7 (木)	0.011	0.020
	8 (金)	0.022	0.050
	9 (土)	0.012	0.024
	10 (日)	0.003	0.006
値	11 (月)	0.004	0.008
	12 (火)	0.006	0.011
	13 (水)	0.008	0.014
	14 (木)	0.009	0.014
	15 (金)	0.010	0.019
	16 (土)	0.008	0.015
	17 (日)	0.005	0.010
	18 (月)	0.012	0.031
	19 (火)	0.008	0.013
	20 (水)	0.010	0.013
値	21 (木)	0.010	0.015
	22 (金)	0.009	0.014
	23 (土)	0.012	0.023
	24 (日)	0.010	0.024
	25 (月)	0.014	0.026
	26 (火)	0.009	0.018
	27 (水)	0.010	0.019
	28 (木)	0.019	0.031
	29 (金)	0.012	0.023
	30 (土)	0.012	0.027
	31 (日)	0.010	0.020
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (ppm)		0.010	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.022	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.050	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号 (埋立地関連)

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和7年8月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)	
日 別 値	1 (金)	0.014	84.8	0.027
	2 (土)	0.011	85.0	0.015
	3 (日)	0.009	90.5	0.016
	4 (月)	0.013	79.0	0.028
	5 (火)	0.014	69.2	0.029
	6 (水)	0.015	71.7	0.031
	7 (木)	0.014	79.6	0.022
	8 (金)	0.026	83.0	0.061
	9 (土)	0.014	87.0	0.030
	10 (日)	0.004	70.5	0.007
	11 (月)	0.006	64.5	0.011
	12 (火)	0.010	60.1	0.016
	13 (水)	0.014	57.6	0.032
	14 (木)	0.012	72.7	0.031
	15 (金)	0.011	89.5	0.020
	16 (土)	0.009	87.6	0.019
	17 (日)	0.006	89.1	0.013
	18 (月)	0.016	79.8	0.039
	19 (火)	0.011	74.1	0.017
	20 (水)	0.014	71.0	0.027
	21 (木)	0.012	78.7	0.019
	22 (金)	0.013	66.1	0.025
	23 (土)	0.015	77.4	0.042
	24 (日)	0.011	88.6	0.031
	25 (月)	0.018	79.9	0.037
	26 (火)	0.012	75.5	0.022
	27 (水)	0.015	71.0	0.027
	28 (木)	0.021	88.1	0.033
	29 (金)	0.015	83.9	0.028
	30 (土)	0.014	86.0	0.028
	31 (日)	0.011	90.3	0.027
有 効 測 定 日 数 (日)		31		
測 定 時 間 (時間)		740		
月 平 均 値 (ppm)		0.013		
日平均値の最高値 (ppm)		0.026		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.061		
月平均値 NO ₂ ／(NO+NO ₂) (%)		78.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均值 $\text{NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2)=$

$$(\text{NO 及び NO}_2 \text{ が同時測定されている時間の NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) /$$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果 [令和 7 年 8 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別	1 (金)	0.023	0.040
	2 (土)	0.019	0.040
	3 (日)	0.023	0.039
	4 (月)	0.037	0.060
	5 (火)	0.017	0.040
	6 (水)	0.032	0.079
	7 (木)	0.021	0.050
	8 (金)	0.017	0.036
	9 (土)	0.017	0.037
	10 (日)	0.021	0.045
値	11 (月)	0.024	0.062
	12 (火)	0.017	0.043
	13 (水)	0.018	0.029
	14 (木)	0.023	0.062
	15 (金)	0.027	0.050
	16 (土)	0.026	0.042
	17 (日)	0.017	0.029
	18 (月)	0.018	0.037
	19 (火)	0.009	0.018
	20 (水)	0.013	0.039
値	21 (木)	0.011	0.022
	22 (金)	0.009	0.016
	23 (土)	0.024	0.052
	24 (日)	0.037	0.056
	25 (月)	0.029	0.049
	26 (火)	0.036	0.065
	27 (水)	0.031	0.052
	28 (木)	0.027	0.066
	29 (金)	0.031	0.049
	30 (土)	0.028	0.050
31 (日)	0.026	0.040	
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		740	
月 平 均 値 (mg/m ³)		0.023	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.037	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.079	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和7年8月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	1.4	2.7	WSW, NNE	WSW
	2 (土)	1.2	2.6	NNE	NNE
	3 (日)	1.3	2.7	WSW	WNW
	4 (月)	1.5	2.8	W	WSW
	5 (火)	1.6	3.7	WSW	WSW
別	6 (水)	1.4	2.6	WSW	WSW
	7 (木)	1.5	2.7	WSW	WSW
	8 (金)	1.0	2.3	WSW	WSW
	9 (土)	1.2	2.9	W	WSW
	10 (日)	2.4	4.1	SW	SW
	11 (月)	2.2	3.3	SW	SW
	12 (火)	1.8	3.0	SSW	SW
	13 (水)	1.1	2.4	WSW	W
	14 (木)	1.0	2.1	WSW	W
	15 (金)	0.9	1.5	W	WNW
	16 (土)	1.2	2.5	W, WSW	WNW
	17 (日)	1.4	2.5	WSW	WSW
	18 (月)	1.2	2.7	WSW	WNW
	19 (火)	1.6	3.1	WSW	W
	20 (水)	1.4	3.3	W	W
値	21 (木)	1.5	3.3	WSW	WSW
	22 (金)	1.3	2.6	WNW	WNW
	23 (土)	1.1	2.3	W	W
	24 (日)	1.4	2.4	WSW	WSW
	25 (月)	1.1	2.6	WSW	WSW
	26 (火)	1.5	3.5	W	WSW
	27 (水)	1.5	3.3	W	W
	28 (木)	1.0	2.0	SW	WNW
	29 (金)	1.4	3.2	W	WSW
	30 (土)	1.2	2.8	WSW	WSW
	31 (日)	1.2	2.9	W	WNW
測 定 時 間 (時間)		744			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.4			
月 最 大 風 速 (m/s)		4.1			
月 最 多 風 向 (16方位)		WSW			

注： 1. 1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

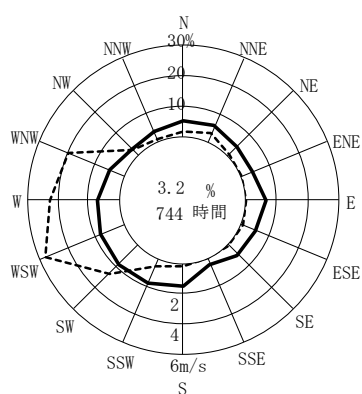
大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和7年8月分]

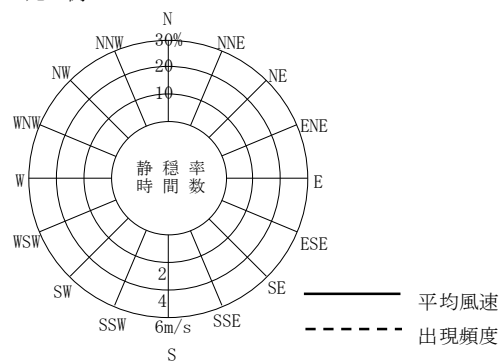
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	24	7	2	2	7	2	1	5	19	95	204	165	143	20	9	15	24	744
頻度 (%)	3.2	0.9	0.3	0.3	0.9	0.3	0.1	0.7	2.6	12.8	27.4	22.2	19.2	2.7	1.2	2.0	3.2	-
平均風速 (m/s)	1.2	0.8	0.8	1.3	1.0	0.9	0.4	1.4	1.7	1.8	1.7	1.4	1.0	0.6	0.7	1.1	0.2	-

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m



凡 例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和7年8月分]

水質様式第 1 号

水質調査結果（一般項目）〔令和 7 年 8 月分〕

調査日：令和7年8月22日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻		8:35	8:19	8:55	11:10	11:23	～			～
透明度 [m]		1.6	2.2	4.5	1.1	1.2	1.1	～	4.5	2.1
水温 [°C]		30.2	30.0	29.9	30.1	30.5	29.9	～	30.5	30.1
		26.4	27.0	26.8	26.5	26.4	26.4	～	27.0	26.6
塩分 [ー]		23.5	21.7	28.3	25.5	25.9	21.7	～	28.3	25.0
		32.7	32.2	32.4	32.7	32.6	32.2	～	32.7	32.5
濁度 [度(カリン)]		2	2	1	2	1	1	～	2	2
		4	2	2	3	4	2	～	4	3
浮遊物質 (S S) [mg/L]		3	4	3	4	3	3	～	4	3
		2	1	2	4	4	1	～	4	3
水素イオン濃度 (p H) [ー]		8.6	8.6	8.3	8.6	8.5	8.3	～	8.6	～
		8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0	～	8.1	～
化学的酸素要求量 (C O D) [mg/L]		4.5	4.8	3.7	4.5	4.1	3.7	～	4.8	4.3
		1.9	1.8	1.9	2.5	1.7	1.7	～	2.5	2.0
溶存酸素量 (D O)	濃 度 [mg/L]	7.8	7.6	7.7	10	9.8	7.6	～	10	8.6
	飽和度 [%]	4.5	5.9	5.9	4.3	4.5	4.3	～	5.9	5.0
全窒素 (T - N) [mg/L]		118	114	119	153	151	114	～	153	131
		67	89	89	65	67	65	～	89	75
全窒素 (T - N) [mg/L]		0.41	1.1	0.41	1.1	0.46	0.41	～	1.1	0.70
		0.13	0.46	0.13	0.22	0.19	0.13	～	0.46	0.23
全磷 (T - P) [mg/L]		0.092	0.13	0.057	0.096	0.083	0.057	～	0.13	0.092
		0.046	0.028	0.034	0.065	0.056	0.028	～	0.065	0.046
クロロフィル a (chl. a) [μ g/L]		8.7	12	4.6	13	11	4.6	～	13	9.8
		0.9	0.5	0.3	1.7	0.8	0.3	～	1.7	0.8

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果（自主検査）〔令和7年8月分〕

調査日：令和7年8月22日

項目 \ 調査点	1	2	3	4	5
ノニルフェノール [mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
報告下限値 0.00006					
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS） [mg/L]	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
報告下限値 0.0006					
亜鉛 [mg/L]	0.004	0.005	0.004	0.002	0.002
報告下限値 0.001					

項目	環境基準値
ノニルフェノール [mg/L]	0.001
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS） [mg/L]	0.01
亜鉛 [mg/L]	0.02